

『南海トラフ巨大地震に備えよう』

9月1日は「防災の日」死者不明者を含めて10万5千人の被害をもたらした「関東大震災」から100年の節目を迎えた日です。
自分、家族の命を守るため、今一度お読みください。

1. 刈谷市地震ハザードマップの確認を！
 - ・マグニチュード9クラスの地震が発生した場合に予想される震度など役立つ情報が表示されています。
 - ・刈谷市の「I♥KRY」をスマホに登録してください。
市内の緊急情報が入ります。
2. 防災ラジオを購入しよう。「1台2000円：危機管理課で販売」
スマホが使えない時、停電の時はラジオが情報を得るための貴重な情報源です。
地震が発生した時、緊急地震速報が大音量で流れます。
3. 感震ブレーカーを設置しよう。「危機管理課で受け付けています。」
地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断します。
4. 防災備品を備えよう。
保存食、非常持出袋、インスタントトイレはぜひ備えてください。
各大型店舗の防災コーナーで販売しています。
5. 自宅耐震診断をしよう。
 - ・昭和25年以降、平成12年5月までに着工された木造住宅が対象で、10月1日まで「木耐協(0120-249-761)」が無料で診断
 - ・パーソナル防災サービス「pasobo」/パソボで各種診断できます。
刈谷市ハザードマップも見られます

